

ロシアがウクライナに奇襲攻撃を開始しました。

ここ数ヶ月ロシアとウクライナとの間で緊張状態が続いており、米国のバイデン大統領の牽制やフランスのマクロン大統領の緊張緩和に向けての努力も空しくロシアからの奇襲攻撃の形で戦闘が開始されました。

ウクライナは NATO 加盟を計画しており、バルト3国のように NATO 加盟が完了してしまうと、侵攻が困難となるため NATO による防衛義務が発生する前に攻撃を開始したものと思えます。(バルト3国に関してもリトアニアとポーランドの間にロシアの飛び地が存在し決してリスクが無い訳では無いですが・・・)

元々この地はロシア帝国の版図であった訳ですが、第一次世界大戦の終結に伴い、ロシア帝国からの独立を果たしたのですが、ロシア帝国の後を継いだソ連が武力により占領しソ連の一部とされておりました。

古来より独裁者という者は、広大な領土を持ちたがるもので、この侵攻もロシア帝国の再来を目標としたのでした。

ソビエトの独裁者スターリンはロシア帝国の版図を再現するため、更にポーランドまで侵攻し一時地図からポーランドと云う国が消失する事態となりました。

ナチスドイツがソ連に侵攻を開始した時、ソビエトからの独立を目指してナチスに協力しようとする動きも在りましたが、ナチスが彼らを信用せず、再独立を果たすことは出来ませんでした。

時は流れソビエト帝国も衰退し、ウクライナも再度の独立を達成した訳ですが、ソビエト帝国の再興を計画する独裁者プーチンにより、再びウクライナは存亡の危機に瀕しております。

東側からのハリコフに向けての進撃と、北側からキエフに向けてのロシア-ベラルーシ連合軍からの攻撃と、南側からのオデッサ方面への攻撃により、3方面からの挟撃を受けて、米国も NATO 諸国も為す術が無いでしょう。(黒海は事実上ロシアの海であり背後を心配すること無く上陸出来るでしょう。)

結局親米派のゼレンスキー政権は倒され、親ロシア派の政権が樹立される事になるでしょう。

全く独裁者という者は広大な領土を持ちたがるものですが、結局其処に住む人々が同一国民であるとの意識が持てなければ、力で民衆を押さえ付けるしか無く、結局何時の日か独裁体制が衰弱すれば、独立する事になり空しい努力です。

オーストリアは現在小さな国ですがかつてはヨーロッパの版図を持つ大帝国でありました。そのオーストリアがハンガリーやセルビアに侵攻し、かつてのオーストリア帝国を再現しようとしたら滑稽でしょう。